

旧日光街道幸手を感じる会 講演会

テーマ

幸手の建物を活かし、幸手の文化を生かす

日時 9月18日(土)アスカル幸手

幸手市大字平須賀 2380-1

9時半受付 10時開演 12時半終了予定

参加費 無料(定員70名・先着順に受付)

講師 後藤 治 先生

プロフィール

昭和63年東京大学大学院工学系研究科建築学専攻博士課程中退
同年文化庁入省

現在 工学院大学建築学科(建築都市デザイン学科)教授

後藤先生は、かつては文化庁文化財保護部建造物課文化財調査官を務めており、登録有形文化財の制度を立ち上げ、その考えを広めるために活動されている。また、当時の経験を活かして歴史的建築物(町並)の保存・活用を力注がれている。著書多数。

後援 幸手市教育委員会 幸手市商工会



「歴史を感じるまち幸手」のパンフ

旧日光街道幸手を感じる会とは

旧日光街道に面した幸手地域に存在する多くの古い商家や民家などを再発見し、そこに存在した歴史や文化を各所に発信していくことによって幸手の活性化に貢献しようとする活動を行っています。

そのひとつとして国登録有形文化財に指定された「岸本家主屋」をまちおこしの核として活かすべく、歴史ある岸本家の整備工事に関与することになりました。

これまでの活動

国交省助成事業の「地域木造住宅活性化推進事業」で、「登録文化財の町屋をまちなか活性化の拠点・核施設として整備する事業」に採択され幸手市内の旧宿場町の商店会の活性化に繋がるモデルとして、旧日光街道幸手を感じる会が事業主体となり動き始めました。

1. 「歴史を感じる幸手」パンフ作成
2. 岸本家の登録有形文化財認定に伴い HP を含むメディアへの発信
3. 幸手駅前に「登録文化財指定岸本家主屋」の道標を設置
4. ネットワークを活かし地元商店とコラボレーション(吉宗弁当など)
5. 視察団やツアーなどの来訪者受け入れ協力
6. 岸本家の「ヘリテージサポーター」協力による曳き家整理事業



登録有形文化財指定岸本家道標



宇都宮からの視察団を受入て説明



1900年パリ万博での銅メダル

旧日光街道幸手を感じる会 TEL 0480-42-1340

事務局 幸手市幸手 2072-2 読売センター幸手東内

ブログ逐次更新中 <http://ameblo.jp/townnavi/>

参加希望者は下記に記入の上、8月31日までにFAXもしくはメールで

参加申込書・FAX 0480-44-1237 へ送信

申込者名	参加人数	名
所属(団体・企業・個人)		
連絡先 TEL		
ご住所		
メールで申込の場合は	を明記の上、右記アドレスへ	feel_satte@yahoo.co.jp